

西宮市立郷土資料館ニュース 第32号

西宮市立郷土資料館 兵庫県西宮市川添町15番26号 〒662-0944

電話 0798-33-1298 web www.nishi.or.jp/homepage/kyodo/

松州武庫山神呪書畫傳
 淨橋寺と今次遠地此群衆と救ひ給
 あり一問四面の言はしく道く殊途の善
 志像とある事十三重此塔と云
 教粒乃佛舍利とおさき又法性寺
 此遠途は冬月極厳寒後にも程氏
 明と洛陽乃化尊をよりあり又これ
 明く是の事と後此はくわくわく
 人屋と群して上人の位受けたるは
 名は及び小佛崗と云はるは如麻三尊



『善恵上人伝絵』（部分・浄橋寺所蔵・兵庫県指定文化財）



撰列武庫山神呪書畫傳
 抑尚此舊貫と考ふに最昔仁王
 十聖代の善仲蒙天皇乃御宇三韓蜂
 刺して漸く九列九ヶ國と七藝以來
 為天皇三韓と攻ふ也始ひ小勝利の
 少て豊前此國門司北浦少く崩御
 ましゆと云神功皇后意りくはか
 しく請は天神地祇と請ひ給ふ
 日本大これ神祇皆勅ふ法は常陸乃廉
 鴻より来り給ひくはる細刺ありて後

『神呪寺縁起絵巻』（部分・神呪寺所蔵・西宮市指定文化財）

第24回特別展示「西宮の寺院縁起」

俵谷 和子（当館囑託）

はじめに

西宮市立郷土資料館では、今夏、「西宮の寺院縁起」として特別展示を開催する。市内には個性豊かな寺院が多数存在するが、個々の寺院の創建や伝承についてはこれまであまり知られていなかったように思う。そこで、市内の寺院のうち江戸時代以前に開基したという伝承を有する寺院⁽¹⁾に創建とともに縁起類の所在確認の調査をおこなった。

確認調査のなかで第二次世界大戦と阪神淡路大震災による影響で、寺歴に関わるものごとごとく失われたとする一方で、本尊や過去帳だけは抱きかかえるようにして持ち出して無事だったという聞き取りがあった。

このように多くの人々によって守られてきた貴重な西宮の仏教文化の一端を、縁起や寺院で大切に伝承されてきた事物などから紹介したいと思う。

1. 寺院縁起とは

「縁起」は、仏教の根本思想をさす用語であるが、日本社会に受容されるなかで本来の意味では用いられず、独自の解釈がなされ使用されている仏教用語のひとつである⁽²⁾。広義では縁起は寺院に関わるすべての事物（造像記・開眼記・荘厳記録・建造再建の由来記など）が含まれ、狭義では草創や沿革とその靈験を強調するために「縁起」というタイトルをつけた特定の文章をさす⁽³⁾。

今回の展示は、広義の縁起を集めたものといえる。それは開基伝承だけでなく、なるべく市内の寺院の変遷を多く紹介したいと考えているからである。当然のことながら、寺院が縁起を作成する時期や背景を探ることは西宮の歴史をも探求することになる。

2. 西宮の寺院

まず、市内に存在する仏教寺院の開基伝承を宗派ごとにその特色について見ていきたい。

(1) 天台宗寺院

市内には、天台宗寺院は存在しない。もと天台宗であったという寺院が中前田町の観音寺（浄土宗）と生瀬町の浄橋寺（同宗）と 津門西口町の昌林寺（同宗）である。観音寺は安和2年（969）比叡山の覚明が筑紫の海中より出現した観音像を迎えて開基したが、延宝元年（1673）運笈が堂宇を再興する時に浄土宗へ改宗したといわれている。浄橋寺は、天台・真言・律・浄土四宗兼学であったのを明治に天台宗一宗に改めたが、開基善恵上人が浄土宗西山派の僧侶であったことから浄土宗西山派に所属している。昌林寺は、天延2年（974）源賢の開基と伝え、源賢が比叡山の源信を師に出家したことから、かつては天台宗に所属していたとする。

(2) 真言宗寺院

真言宗寺院は、10ヶ寺ある。甲山を中心にみていくと、甲山中腹にある神呪寺、東側の永福寺・松林寺・東光寺（門戸厄神）・西廣寺、甲山の西にある鷲林寺、阪急「西宮北口」駅北側の法心寺・大日寺、西宮神社に隣接する円満寺、上甲子園の澄心寺がある。永福寺・松林寺・東光寺は空海を開基としている。神呪寺は淳和天皇妃如意尼の開基で、空海が如意尼をモデルに桜の木で刻んだ如意輪観音を本尊として祀っている。鷲林寺は諸書によって開基伝承が異なるが、同寺では空海開基説をとっている。円満寺はこの鷲林寺の塔頭のひとつが発展したもので、「里鷲林寺」とも呼ばれた。法心寺・大日寺は『瓦木村誌』⁽⁴⁾には考據がないとしながら、度重なる法難にあった神呪寺の塔頭寺院の僧侶が、本尊を携えて開基したと伝えられている。西廣寺の創建も明らかではないが、本尊大日如来は朝日寺（岡山県瀬戸内市邑久町）の僧宥算が、藩主池田光政による宗教弾圧のあおりを受け廃寺になった朝日寺大塔の本尊を携えて西宮に来訪し、元禄11年（1698）西廣寺を開基したとの伝承がある。残念ながら一旦廃寺となった朝日寺には宥算に関連する資料は伝えておらず、7つあったとする塔頭寺院の顛末を記している「邑久郡 寛文年中亡所古寺書上帳」にもその名をみることができない⁽⁵⁾。澄心寺については、禅宗寺院の項で述べる。

(3) 浄土宗寺院

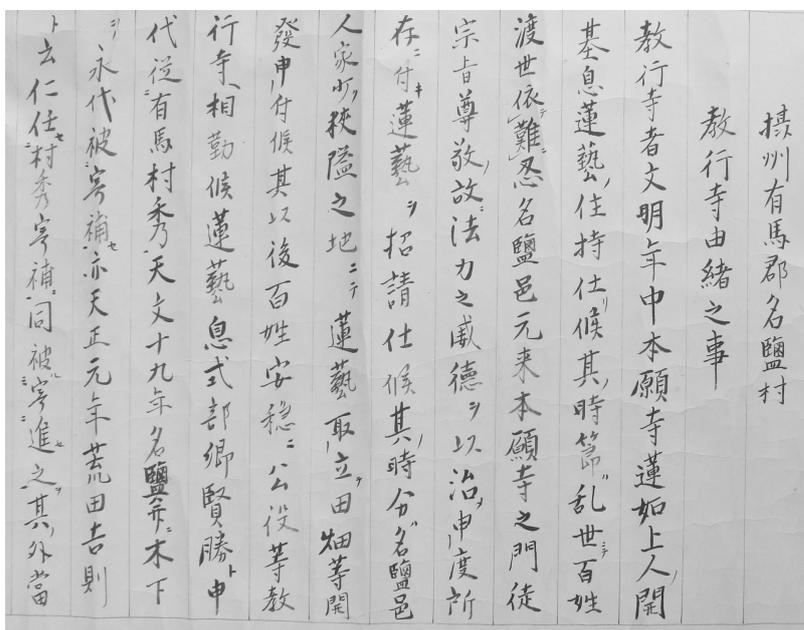
浄土宗は15ヶ寺ある。そのなかでも最も古い開基伝承をもつのが等覚寺で、神亀元年(724)行基を開基とする。しかし、浄土宗の開かれた時期をはるか遡るため、天文11年(1542)光誉の再興時に浄土宗となった可能性が指摘される。先に紹介したが昌林寺や観音寺ももとは天台宗寺院だったとされ、浄土宗には後年改宗された。

浄土宗で特記されるのは、天台宗寺院の項で紹介した浄橋寺である。浄橋寺開基の善恵は、不断念仏をして造寺・造塔を多数建立した人物である。嘉禎4年(1238)に建立されたという浄橋寺には、創建当初にちかい仁治二年(1241)銘の古瓦や善恵の高弟証空が選文した寛元2年(1244)の銅鐘が残されており、市内寺院のなかでも事物をともなう古い寺院であるといえる。

極楽寺は越水城主瓦林正頼が元亀元年(1570)建立した寺院と伝えられ、同寺には正頼の位牌、墓碑などが残されている。また、旧西宮町内には、円福寺・法安寺・正行寺・西蓮寺・西安寺の浄土宗寺院があったことが「貞享元年(1684)西宮町浜絵図」に見える(6)。

(4) 浄土真宗寺院

浄土真宗は17ヶ寺ある。本宗については、本願寺8世蓮如の活躍による開基をとる寺院が多い。なかでも名塩御坊といわれる教行寺は、文明3年(1471)蓮如の創建といい本願寺の別格本山としての地位をもつ。蓮如の名塩来訪にともない山口町には5ヶ寺の真宗寺院



が(受西寺・西生寺・正明寺・明德寺・善照寺)建立された。これらは蓮如が名塩から有馬温泉入湯を機縁に開基されたと言われている。各寺院には、蓮如の染筆の六字名号が伝来している(現存しているのは明德寺のみ)。同じく名塩にある教蓮寺は、天元5年(982)源満仲の家臣藤原仲光が出家し真言宗として開基、のち文明年中(1469~87)

蓮如に帰依した村民が教西となり浄土真宗に改宗し再興されたという。名塩紙に記された歴代住職の系図が残されている。同じく名塩には、教蓮寺と同様に蓮如に帰依した村民が了和となり開基したという源照寺がある。

南部でみると、旧西宮町内に正念寺・信行寺がある。正念寺はもと禅宗寺院を弘安年中（1278～88）に再興した心覚によって浄土真宗に改宗された。信行寺は、蛭児大神を守護した西戎の子孫四夷新左衛門が出家して浄専という法名で明德2年（1391）に開基したと伝え、現在も四夷家が住職を勤めている。鳴尾周辺には常願寺・常福寺・乗誓寺・善教寺・西光寺などの真宗寺院が分布している。

（5）禅宗寺院

禅宗寺院は、臨済宗6ヶ寺、曹洞宗1ヶ寺ある。もっとも古い開基をもつのは、産所町にある順心寺（臨済宗）で康元元年（1256）覚心による創建という。『西宮市史』⁽⁷⁾では禅宗寺院としての創建には少し早いとし、覚心が高野山金剛三昧院の院主であったことから当初は真言宗であったのではないかと指摘しているが、嘉禎年間（1235～38）に日宋し禅宗を学び、正嘉2年（1258）和歌山県に西方寺（のちの興国寺）を興していることから初期の宗旨については明言を避けたい。

次にあげられるのは、廃寺となり現在は真言宗寺院となってその名が継承されている上甲子園の澄心寺である。臨済宗東福寺派の普円国師を開基とする。

澄心寺の創建と前後して現在の市役所の場所に、六湛寺が虎関師錬によって開かれた。廃寺となった六湛寺の塔頭が寺号となったのが、如意寺・茂松寺である。このほかにも、養春軒・瑞雲軒・松隣軒などの塔頭寺院があったという。六湛寺と同じく虎関師錬を開基とする寺院に積翠寺・聖乗院（尼寺・廃寺）が知られる。

鳴尾にはかつて長蘆寺（廃寺）という禅宗寺院があった。大徳寺の塔頭如意庵の末寺として言外宗忠を開基とする一方、同寺では大徳寺2世徹翁義亨と宗忠を開基としている。上鳴尾町には、現在長蘆寺の後身とされる観音寺がある。文政年間（1818～30）に春芳が観音寺と改号して再興したという。このとき東福寺末から妙心寺末にかわったといわれている。鳴尾八幡神社には春芳の名が記された棟札が残されている。

同じ妙心寺派の海清寺は、応永元年（1394）無因宗因の創建といい、六湛寺に隣接していた。

西宮の南部に禅宗寺院が建立されるようになったのは南北朝時代で、鳴尾周辺に大徳寺の荘園があったことと、武士の台頭によって禅宗が信仰されたことによると言われる。このことは西宮町の発展とも大きな関わりがある。

(6) 日蓮宗寺院

日蓮宗は津門呉羽町にある浄願寺1ヶ寺である。浄願寺は、元文4年(1739)房総天津小湊(千葉県)にある誕生寺の31世日泰の創建という。江戸時代の西宮では綿作が盛んになり、肥料としての干鰯が大量に必要となった。そこで、房総半島の鰯を求めて多くの人々が西宮から進出していった。定住する人も増え、西宮と房総との間に行き来が増えていった。この行き来のなかで、浄土真宗であった浄願寺を日蓮宗に改宗して開基されたという。

3、縁起制作の背景

「神呪寺縁起絵巻」(西宮指定文化財)を事例にとって、縁起が制作された背景を考えたい。先述したように神呪寺は、天長5年(828)に如意尼によって開基された真言宗寺院である。しかし天正年間(1573~92)の兵火などによって甲山の伽藍は全焼、僧侶も甲山をおりて門戸村に居住したといわれる。『神呪寺史』⁽⁸⁾によると元禄9年(1696)54代住持寛隆が江戸で本尊や縁起などの出開帳をおこない、将軍綱吉の母桂昌院によって奉賀金が下賜されたという。これを期に荒廃していた神呪寺は、徐々に復興を遂げていくことになる。神呪寺に伝わる縁起絵巻の制作年代が17世紀後半だと言われていることから、寛隆が江戸で開帳したという縁起が現在残されている縁起絵巻であった可能性も考えられるのである。そうすると神呪寺の縁起絵巻は、寺院再興の目的で作製されたといえる。

このように寺院の再建を目的とした勧進活動の道具として、あるいは寺領の確保のため、あるいは為政者への提出のため縁起が制作されていった。もちろん布教活動のなかでも縁起は大きな存在であった。

むすび

今回の展示は、大多数初公開の資料となる。これもひとえに市内寺院のご協力の賜物である。ここに感謝を表し、多くの方に観覧していただきたいと思う。

阿弥陀寺	浄土宗	郷免町2-8
永福寺	真言宗	下大市東町23-3
円福寺	浄土宗	与古道町5-3
円満寺	真言宗	社家町1-36
海光寺	曹洞宗	今津巽町3-24
海清寺	臨濟宗	六湛寺町7-25
神呪寺	真言宗	甲山町25-1
観音寺	浄土宗	中前田町4-23
観音寺	臨濟宗	上鳴尾町19-19
教行寺	浄土真宗	名塩1-20-16
教蓮寺	浄土真宗	名塩1-27-19
源照寺	浄土真宗	名塩1-27-14
光明寺	浄土宗	山口町下山口3-13-21
極楽寺	浄土宗	瓦林町16-8
西安寺	浄土宗	産所町9-12
西光寺	浄土真宗	鳴尾町1-16-2
西廣寺	真言宗	段上町3-2-3
西生寺	浄土真宗	山口町名来452
西福寺	浄土真宗	西福町14-1
西方寺	浄土宗	鳴尾町3-4-14
西蓮寺	浄土宗	馬場町2-15
受西寺	浄土真宗	山口町中野430-1
鷲林寺	真言宗	鷲林寺町4
順心寺	臨濟宗	産所町2-9
浄願寺	浄土真宗	甲子園六番町10-18
浄願寺	日蓮宗	津門呉羽町8-32
浄橋寺	浄土宗	生瀬町2-20-24
常源寺	浄土真宗	甲子園七番町22-3
乘誓寺	浄土真宗	鳴尾町1-7-5
正念寺	浄土真宗	本町2-3
常福寺	浄土真宗	上鳴尾町7-16
正明寺	浄土真宗	山口町名来239

昌林寺	浄土宗	津門西口町14-12
松林寺	真言宗	上大市2-19-7
信行寺	浄土真宗	用海町1-22
積翠寺	臨濟宗	神原7-2
善教寺	浄土真宗	鳴尾町4-10-7
善照寺	浄土真宗	山口町船坂572
泉福寺	浄土宗	越水町13-42
大日寺	真言宗	高木東町1-21
澄心寺	真言宗	上甲子園2-3-9
等覚寺	浄土宗	小松町1-1-14
東光寺	真言宗	門戸西町2-26
豊乗寺	浄土宗	広田町6-30
法安寺	浄土宗	末広町3-4
法心寺	真言宗	高木西町3-19
如意寺	臨濟宗	北名次町8-5
明德寺	浄土真宗	山口町上山口1-4-5
木元寺	浄土宗	名塩木之元21-1
茂松寺	臨濟宗	六湛寺町10-40

西宮市内寺院一覽

- (1)西宮市内寺院一覽
 - (2)『仏教辞典』岩浪書店 1993年7月刊
 - (3)『寺社縁起』日本思想大系20 岩浪書店 1975年12月刊
 - (4)『瓦木村誌』西宮市役所 昭和27年4月刊
 - (5)『邑久町史』史料編上 瀬戸内市 2007年3月刊
 - (6)『西宮市史』第二卷付図第一 西宮市 昭和35年3月刊
 - (7)『西宮市史』第一卷 西宮市 昭和34年月刊
 - (8)『甲山 神呪寺史』神呪寺 平成10年11月再刊
- 参考文献

『武庫郡誌』復刻版 中央印刷 昭和48年6月刊

『西宮町誌』復刻版 中外出版 昭和50年5月刊

『名塩史』西宮市 平成2年11月刊

寄贈資料一覧（平成17年4月～平成20年3月、敬称略）

棹秤（田中政雄）、下水マンホール蓋（松井光利）、火鉢（米正義光）、中村 吉田理氏文書（吉田理）、エビス講の講帳・のこぎり・はかり・矢立（白野信一）、麻田藩藩札・大東亜戦争割引国庫債券・土地台帳謄本（井上雅子）、紙漉道具・籠・わらじ・桶・砧・木槌（南堂良平）、全国中等学校優勝野球大会座席券・赤穂義士遺物保存会入場券・川西航空機株式会社絵葉書・大東亜建設博覧会記念絵葉書（田中千尋）、兵庫県下有馬武庫菟原豪商名所獨案内の魁（萬字屋書店）、再訂中等國語讀本 卷三・高等小学筆算教科書卷之四・初等科工作 一（玉川浩介）、打瀬用ケタ・スキーケタ・打瀬船（模型）・機帆船（模型）・イカ釣り針（山本幸治）、地券（田中千尋）、軍事郵便はがき（伊藤弥十郎）、昭和21年度百間樋井掛歳入歳出予算書（書類綴）・兵庫県武庫郡武庫川所属各樋門灌漑費調査表・阪神水道一般平面図・阪神上水道推移系統図・阪神上水道布設工事進捗状況・書類袋（兵庫県武庫郡甲東村役場）（松田順男）、唐箕（古塚重信）、甲子園ホテルリーフレット（山下和夫）、打瀬網・打瀬のオモリ・寄せ書き日章旗・千人針（三木善己）、疎開児童用雑嚢（播谷俊男）、軍服（岡本紀士生）、共同苗代設置標準・日本交通分縣地図 兵庫縣（神戸市・淡路島・尼崎）・交通分縣地図 兵庫縣（明石・姫路・西宮）・第四回武庫郡園芸品評会規則・絵葉書甲子園ホテル・絵葉書甲陽公園・学校誌 甲陽・参加証（田中千尋）、記念誌『57年のあゆみ』・組合総会議事録・組合関係写真・臨時総会議事録・米飯提供登録業者・組合員領収之通・給食希望者のしおり・組合案内・組合員事業所要覧・組合資料・組合旗・にしき協業組合門票（吉田一夫）

ご寄贈ありがとうございました。

目次 CONTENTS

第24回特別展示「西宮の寺院縁起」（俵谷 和子）…1

寄贈資料一覧…8

西宮市立郷土資料館ニュース第32号 2008年6月30日